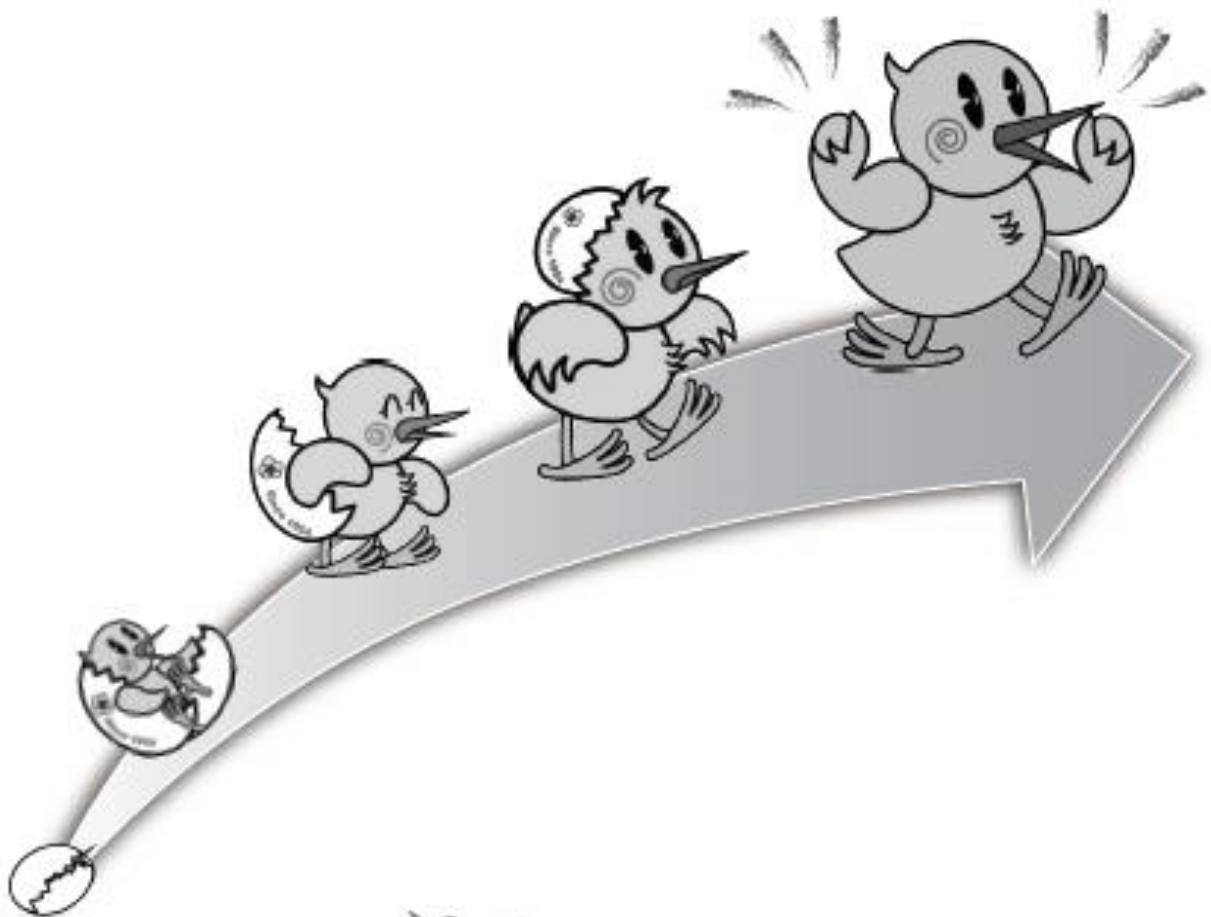


第6次鴻巣市総合振興計画〈平成29年度～令和8年度〉

令和4年度 実施計画

計画期間 〈令和4年度～令和6年度〉



— 目 次 —

第 1 章 実施計画の概要

1 計画の性格	1
2 計画の期間	1
3 計画の基本方針	2
4 計画の範囲	2
5 実施計画事業の選定基準	3

第 2 章 財政計画

1 計画期間内の財政見通し	3
(1) 歳入見通し	3
(2) 歳出見通し	4
2 市の財政フレーム	4

第 3 章 分野別計画

・ 令和 4 年度 実施計画対象事業一覧表	5～ 6
・ 実施計画書(ソフト事業一覧)	7～17
・ 実施計画書(ハード事業一覧)	18～26
・ 参考(水道・下水道企業会計事業一覧)	27～29

第 1 章 実施計画の概要

1 計画の性格

第 6 次鴻巣市総合振興計画の基本計画で定められた施策をどのように実施していくかを具体的に示す「実施計画」は、新年度を含めた向こう 3 か年間の重要事業の推進の方向性を示すことを目的に、毎年度、予算が確定する 3 月末に策定しているものです。

この計画は、次年度以降の予算編成及び事業実施の指針となるばかりでなく、市が取り組んでいる重要事業の内容を市民の皆様にご覧いただくという役割も担っています。

このたび公表する実施計画に掲載した事業に関しては、今後、①事業担当部課による事業内容や事業費の精査、②それに基づく予算の概算要求、③市長の予算査定、④市議会における審議等、様々な過程を経てその予算化・事業化を目指していくこととなります。

なお、これらの予算化・事業化を目指す一連の作業のなかで、事業費の拡大・縮小、事業の取り止め・延伸・前倒し等、事業実施上、変更する場合があります。

平成 29年度 (2017)	30年度 (2018)	令和 元年度 (2019)	2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)	7年度 (2025)	8年度 (2026)
基本構 想									
前期基本計画					後期基本計画				
			実施計画						
				実施計画					
					実施計画				
						毎年度 3 か年 ローリング方式※			

※ローリング方式
総合振興計画など、長期の事業計画の実施過程で計画と実績を毎年チェックし、計画的な目標達成を図る方式。

2 計画の期間

本計画の期間は、令和 4 年度から令和 6 年度までの 3 か年とします。

今回の実施計画は、第 6 次鴻巣市総合振興計画の第 6 期目の実施計画となります。

3 計画の基本方針

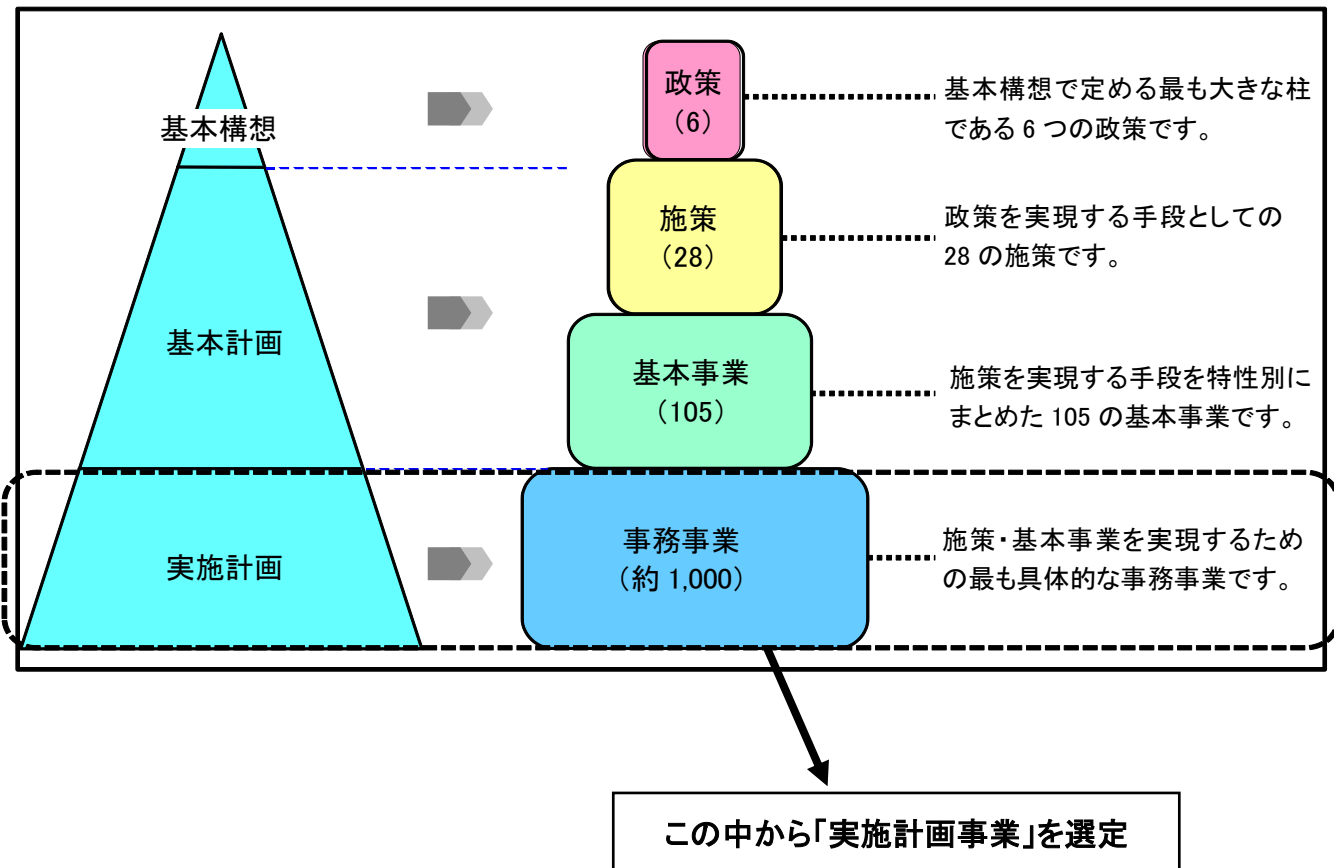
本計画に掲げられた事業を進めるにあたっては、財源の確保に最大限努めるとともに、行政評価の考え方に基づき、効果的・効率的に事業を進めます。

また、それぞれの事業の実施にあたっては、

◆政策 1 子育て・教育・文化に関する政策 ～未来をひらく人材を育て、 確かな学びと文化が根付くまちづくり～	◆政策 4 都市基盤に関する政策 ～都市機能と豊かな自然が調和した 住みよい快適なまちづくり～
◆政策 2 保健・福祉・医療に関する政策 ～いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり～	◆政策 5 産業に関する政策 ～にぎわいと活力と魅力を創出できるまちづくり～
◆政策 3 安全・安心に関する政策 ～安全・安心に暮らせるまちづくり～	◆政策 6 市民協働・行政運営に関する政策 ～市民協働による一人一人が主役のまちづくり～

という、基本構想に定める、「6つの政策展開の方向」のもと取り組みます。

4 計画の範囲



5 実施計画事業の選定基準

実施計画事業は、向こう3か年を計画期間として毎年ローリングします。
今年度の対象事業については、下記の基準によって選定しています
(※ 対象事業は第3章一覧表のとおり)。

- 1 施策の成果に対し、貢献度が大きい事業
- 2 まち・ひと・しごと創生総合戦略及び国土強靱化地域計画と連携する基本事業に位置付けられる事務事業のうち、特に重要性の高い事業
- 3 複数年にわたり多額の事業費を必要とし、終期設定がある事業
- 4 制度改正等により事業費が大きく変動する事業
- 5 上記以外の事業で実施計画に位置づける必要がある事業

第2章 財政計画

1 計画期間内の財政見通し

我が国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、長期に渡り厳しい状況が続いています。これまでの経済対策により、安全・安心の確保や経済の持続的な成長を図るべく、切れ目ない財政出動が掲げられ、持ち直しが期待されています。

しかしながら、医療や介護、子育て支援などの福祉にかかる給付費などの増加に加え、公共施設の老朽化対策や防災対策への対応など、今後も厳しい財政運営が続くものと考えられます。

本市においても、新型コロナウイルス感染症の長期化により厳しい状況にあるものの、緩やかな回復を想定しています。一方、合併特例債の発行期限が終了したことにより、普通建設事業費における一般財源負担の増加が見込まれ、国庫支出金等の積極的な活用と自主財源確保により一層努める必要があります。

また、以前からの喫緊の課題である人口減少対策に継続して取り組むほか、DXや脱炭素社会への対応、コロナ対策、防災・減災対策などの事業に注力してまいります。

これらのことから、一般会計の予算規模は400億円程度で推移すると予想されます。

(1) 歳入見通し

ア 市税は、新型コロナウイルス感染症の影響や、厳しい状況から徐々にもち直しが見られる状況を勘案し、推計しました。

イ 地方交付税は、社会保障関係費の増加が見込まれる中、行政サービスを安定的に提供しつつ、様々な重要課題に取り組めるよう拡充がなされた、令和4年度地方財政対策をもとに推計しました。

ウ 国・県支出金については、医療や介護、子育て支援などに係る給付費の増加等を見込み推計しました。

(2) 歳出見通し

- ア 人件費は、職員の新規採用と退職者数の増減を考慮し、700人体制を見込み推計しました。
- イ 扶助費は、高齢化の進行や子育て支援の充実、過去の決算の推移をもとに推計しました。
- ウ 公債費は、過去に発行した地方債の元利償還金を見込み推計しました。
- エ 繰出金は、各会計の自助努力での運営を前提とし、高齢化の進行に伴う福祉・医療関連の繰出しや、北新宿第二土地区画整理事業及び広田中央特定土地区画整理事業の計画的な進捗を図るための繰出しを見込み推計しました。
- オ 投資的経費は、本実施計画に位置付けられた普通建設事業の取組などを見込み推計しました。

2 市の財政フレーム

《歳入》

単位：千円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市 税	14,749,000	15,117,000	15,096,000
地 方 交 付 税	6,754,000	6,742,000	6,742,000
譲与税・交付金等	3,073,000	3,121,000	3,162,000
国 県 支 出 金	8,980,000	9,115,000	9,198,000
繰 入 金	2,219,000	1,516,000	2,304,000
市 債	1,626,000	1,437,000	1,700,000
そ の 他	2,394,000	2,396,000	2,418,000
歳 入 合 計	39,795,000	39,444,000	40,620,000

《歳出》

単位：千円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人 件 費	6,475,000	6,469,000	6,443,000
扶 助 費	9,773,000	9,969,000	10,168,000
公 債 費	4,718,000	4,481,000	4,473,000
補 助 費 等	4,494,000	4,431,000	4,412,000
繰 出 金	3,951,000	3,888,000	3,963,000
投 資 的 経 費	2,022,000	2,022,000	3,020,000
そ の 他	8,362,000	8,184,000	8,141,000
歳 出 合 計	39,795,000	39,444,000	40,620,000

※この表は、令和4年3月の推定値であり、今後経済状況等で、大きく変動する場合があります。

第3章 分野別計画

令和4年度 実施計画対象事業一覧表

(※事業費は百万円未満を切り上げています。)

【ソフト事業】

(単位:千円)

詳細ページ番号	総合戦略	強靱化	政策体系			事業名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			政策	施策	基本事業				
7	○		1	1	1	病児・病後児保育事業	34,000	32,000	32,000
7	○		1	1	1	保育ステーション事業	29,000	29,000	29,000
8	○		1	1	2	こどもの医療費支給事業	362,000	357,000	345,000
8	○		1	1	4	結婚支援事業	13,000	13,000	13,000
9	○		1	2	1	外国語教育推進事業	89,000	89,000	89,000
10			2	2	3	重層的支援体制整備事業	12,000	9,000	9,000
11	○	○	3	1	2	自主防災組織等支援事業	6,000	6,000	6,000
11	○		3	3	5	エコな住環境づくり事業	11,000	11,000	11,000
12	○		4	1	2	定住促進事業	14,000	14,000	14,000
12	○		4	4	1	公共交通維持事業	161,000	126,000	125,000
13	○		4	4	1	デマンド交通運行事業	104,000	103,000	103,000
13	○		4	5	1	花いっぱいのみちづくり事業	19,000	20,000	20,000
14	○		4	5	3	コウノトリの里づくり事業	11,000	9,000	9,000
15	○		5	3	1	こうのとりのりパートナー事業	4,000	4,000	4,000
15	○	○	5	3	2	にぎわい交流館管理運営事業	21,000	21,000	21,000
16	○		6	3	5	ふるさと納税促進事業	80,000	90,000	100,000
16	○		6	3	5	シティプロモーション推進事業	8,000	7,000	7,000
17	○	○	6	4	3	包括施設管理業務事業	434,000	432,000	435,000
17	○		6	4	5	DX推進事業	7,000	7,000	7,000
合 計							1,419,000	1,379,000	1,379,000

【ハード事業】

(単位:千円)

詳細 ページ 番号	総合戦略	強靱化	政策体系			事業名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			政策	施策	基本 事業				
18		○	1	2	4	小学校施設改修事業	10,000	249,000	241,000
18		○	1	2	4	中学校施設改修事業	201,000	83,000	87,000
19			1	2	4	みどりの校庭推進事業	37,000	38,000	39,000
19			1	3	2	鴻巣地区複合施設整備事業	0	6,000	20,000
20		○	3	1	3	災害支援体制整備事業	330,000	27,000	27,000
21	○	○	4	1	3	北新宿第二土地区画整理事業 特別会計繰出金	428,000	300,000	300,000
21	○	○	4	1	3	広田中央特定土地区画整理事業 特別会計繰出金	56,000	50,000	50,000
22		○	4	2	2	(仮称)共和箕田線整備事業	0	1,000	1,000
22		○	4	2	2	荒川左岸通線整備事業	24,000	15,000	1,000
23		○	4	2	2	市道A-1004号線整備事業	7,000	53,000	50,000
23		○	4	2	2	三谷橋大間線(3期工事)整備事業	38,000	227,000	227,000
24		○	4	2	2	幹線道路等整備事業	243,000	240,000	240,000
24		○	4	2	2	上尾道路接続市道整備事業	6,000	15,000	27,000
25		○	4	2	3	橋りょう維持事業	50,000	60,000	60,000
25	○	○	4	5	2	ふるさと総合緑道整備事業	49,000	49,000	21,000
26		○	5	2	2	鴻巣・行田地区経営体育成基盤整備事業	3,000	32,000	13,000
26	○	○	5	2	3	道の駅整備事業	134,000	296,000	1,326,000
合 計							1,616,000	1,741,000	2,730,000

＜参考＞水道・下水道企業会計

(単位:千円)

詳細 ページ 番号	総合戦略	強靱化	政策体系			事業名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			政策	施策	基本 事業				
27		○	3	5	1	配水管等布設事業	619,000	619,000	619,000
27		○	3	6	1	汚水管渠整備事業	601,000	123,000	116,000
28		○	3	6	1	マンホール蓋改築事業	266,000	293,000	186,000
29		○	4	3	2	雨水整備事業	243,000	138,000	114,000
合 計							1,729,000	1,173,000	1,035,000

病児 病後児保育事業

1352

施策体系	01-01-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)こども未来部 (課)保育課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
保育所、幼稚園、家庭保育室、小学校、特別支援学校に通所・通学している児童で、病気にかかっている、又は病気の回復期にある児童及び保護者	【事業概要】 保護者の就労等のため、集団での保育が困難な児童を適切な処遇のできる施設で預かる。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 保護者等が必要な時に円滑にサービスを受けられるようにするため、病児保育及び送迎対応制度の周知を行うとともに、利用者のニーズを把握し、事業の充実によるサービス向上を図る。
保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	開設日数(日)	250	250	250	250
活動	利用児童数(人)	400	400	400	400
成果	申込者に対する利用割合(%)	100	100	100	100
成果					
事業費(千円)		31,325	33,525	31,925	31,925
うち一般財源(千円)		13,441	12,281	11,747	11,747
備考					

保育ステーション事業

1546

施策体系	01-01-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和01年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)こども未来部 (課)保育課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
指定保育所に送迎することが困難なこと等の理由により事業の利用が必要と認められる児童	【事業概要】 駅前等の利便性が高い場所にある、児童を指定保育所へ送迎するために設けられた保育ステーションと指定保育所との間の、車両による児童の送迎並びに当該車両内及び保育ステーション内での一時預かり時における保育の実施について、市が適切な事業の実施をすることが可能であると認める者に委託して実施する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 利用実態を適切に把握し、効率の良い運行管理を行い、多くの利用を目指していく。
自宅から遠距離にある保育施設の利用を可能にするとともに、児童の送迎に係る保護者の負担軽減を図り、安心して子育てができる環境の整備し、児童福祉の向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	利用登録児童数(人)	10	21	23	23
活動					
成果	待機児童数(人)	0	0	0	0
成果					
事業費(千円)		28,516	28,536	28,536	28,536
うち一般財源(千円)		14,838	13,908	13,872	13,872
備考					

こどもの医療費支給事業

371

施策体系	01-01-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)こども未来部 (課)子育て支援課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
0歳から高校3年生(18歳に達する日以後の最初の3月31日)までの子ども	<p>【事業概要】 市内医療機関においては保険証・受給者証を提示することで窓口払いを廃止(現物給付) 市外医療機関では一旦医療費を支払い、後日申請書と領収書を市へ提出する償還払いで助成 令和2年4月から入・通院について18歳年度末まで拡大</p> <p>【今後の方向性】 令和4年10月から埼玉県内の医療機関等で現物給付を開始 令和4年度 システム改修、協定締結、制度内容を市民に周知(広報・HP)、受給者証交付</p>
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
対象のこどもの保険診療に係る医療費(一部負担金)を助成することにより、保護者の経済的負担が軽減される。また、窓口払いの廃止により安心して医療を受けることが出来る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	受給資格証交付件数(人)	16,800	16,700	16,400	16,100
活動	支給延べ件数(件)	155,000	182,000	181,000	175,000
成果	受給資格証交付率(%)	97.6	98.2	98.2	98.2
成果					
事業費(千円)		305,475	361,276	356,981	344,144
うち一般財源(千円)		277,726	326,446	321,361	309,754
備考					

結婚支援事業

1560

施策体系	01-01-04	会計区分	一般会計	計画年度	令和01年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)総務部 (課)やさしさ支援課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
市民・未婚の男女	<p>【事業概要】 新たな生活を始める新婚夫婦への支援として、住居費又はリフォーム費用及び引越費用の一部を補助する。また、結婚を望む未婚の男女に対し、「SAITAMA出会いサポートセンター」を周知し、出張登録会の開催を通じて、登録者数の増加を図る。</p> <p>【今後の方向性】 「結婚新生活支援補助金」は、R3年度から都道府県主導型市町村連携コースとして採択された。県と連携し、結婚までの支援だけでなく、家族形成を展望できるようなライフデザインに関する支援についても取り組んでいく。</p>
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
結婚を望む男女に出会いの場を提供することと経済的理由により結婚に踏み出せないカップルに対する支援を実施することで、結婚意識の向上と家族形成への支援が図られる。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	結婚新生活支援補助金 補助交付件数(件)	20	25	25	25
活動	SAITAMA出会いサポートセンター」における市民の登録者数(人)	150	250	275	300
成果	結婚新生活支援補助金 助成額(千円)	9,000	12,000	12,000	12,000
成果	SAITAMA出会いサポートセンター」市民成婚者数(人)	1	4	6	8
事業費(千円)		9,090	12,090	12,090	12,090
うち一般財源(千円)		3,090	4,090	4,090	4,090
備考					

外国語教育推進事業

施策体系	01-02-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部) 教育部 (課) 学校支援課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
児童 生徒	【事業概要】 ALT（外国語指導助手）による系統的な指導及び中学校区での外国語活動・外国語の授業研究会の開催により、小中学校の国際理解教育・外国語教育の推進を図っていく。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 雇用計画 令和4年度～令和6年度 ALT 20人(委託17人、JET3人) CIR:市費職員1人 JET - ALTを中学校に優先的に配置し、英語指導に加え、国際理解教育やキャリア教育にも繋げていく。
小、中学校における英語学習の機会が増え、英語や外国文化に対する興味関心が高まる。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	ALT (外国語指導助手)による児童への指導回数 (日)	2,304	2,304	2,304	2,304
活動	ALT (外国語指導助手)による生徒への指導回数 (日)	1,560	1,560	1,560	1,560
成果	外国語に興味を持っている児童の割合 (5年生)(%)	93	93	93	93
成果					
事業費 (千円)		75,776	88,250	88,250	88,250
うち一般財源 (千円)		66,739	76,978	84,250	84,250
備考					

重層的支援体制整備事業

施策体系	02-02-03	会計区分	一般会計	計画年度	令和04年度～令和 年度	事業区分	新規
担当部課	(部)健康福祉部 (課)福祉課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	<p>【事業概要】 令和2年6月に改正された社会福祉法に基づき、市町村において、地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、対象者の属性を問わない登壇支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業を実施する。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	<p>【今後の方向性】 令和4年度を含む概ね3年度間を重層的支援体制整備事業移行準備期間とし、包括的相談体制の稼働に向け庁内体制と関係機関及び事業者との連携を図り、支援体制の構築を図る。</p>
地域住民の抱える複合・複雑化した課題に対し、属性・世代を問わない相談支援や、地域づくりが進んでいます。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	新規相談受付件数 (件)		100	150	200
活動					
成果	プラン策定件数 (件)		60	70	80
成果					
事業費 (千円)			11,213	8,757	8,757
うち一般財源 (千円)			2,804	2,190	2,190
備考					

自主防災組織等支援事業

196

施策体系	03-01-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)危機管理監 (課)危機管理課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民 自治会	【事業概要】 自主防災組織の活性化と、新たな結成を促進するため、活動費、防災用資機材整備費の一部及び複数の自主防災組織が連携して行う防災訓練に対し、補助金を交付する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 令和3年度より、自主防災組織合同訓練実施補助金を新たに創設。令和4年度も合同訓練を推進するとともに、自主防災組織の結成を促進するため、自治会連合会の総会、役員会などにおいて設立の依頼を行っていく。
各自治会が自主防災組織を組織することで、共助による避難、救助の体制を整備する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	補助金額 (千円)	6,110	5,090	5,090	5,090
活動	補助金交付件数 (件)	141	136	136	136
成果	自主防災組織率 (%)	66.0	71.5	74.7	77.9
成果					
事業費 (千円)		6,212	5,192	5,192	5,192
うち一般財源 (千円)		6,012	4,992	4,992	4,992
備考					

エコな住環境づくり事業

1603

施策体系	03-03-05	会計区分	一般会計	計画年度	令和02年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)環境課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、事業者	【事業概要】 市民や事業者に対して、環境の保全及び創造に関する意識の向上を目的とした啓発を行うとともに、補助制度を活用した再生可能エネルギーの導入等、個々のライフスタイルに応じた脱炭素行動の実践について普及促進を図る。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【事業の方向性】 2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、エコライフや「COOL CHOICE」運動の普及啓発を行う。 また、令和4年度については、太陽光発電設備の設置や省エネ性能の高い電気冷蔵庫の買換え、電気自動車の購入など、市民や事業者に対する補助制度を拡充し、地球温暖化対策の推進につなげる。
市民が環境問題に関心を持ち、環境負荷の少ない住環境づくりに取り組む。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	啓発事業の回数 (回)	9	9	10	11
活動	地球温暖化防止を目的とした補助金の交付件数 (件)	60	282	282	282
成果	脱炭素社会を意識して生活している市民の平均項目実践数 (項目)	4.05	4.15	4.25	4.35
成果					
事業費 (千円)		3,250	10,244	10,244	10,244
うち一般財源 (千円)		3,022	22	22	22
備考					

定住促進事業

1480

施策体系	04-01-02	会計区分	一般会計	計画年度	平成28年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市長政策室 (課)総合政策課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
鴻巣市に転入予定または市内で転居予定の親世帯と子世帯義務教育修了前の子ども（出産予定含む）を扶養し、住宅を取得する世帯	【事業概要】 世帯要件 親世帯、子世帯の両方または一方が転入または転居義務教育修了前の子（出産予定含む）を扶養同居または近居（市内）のため、住宅を取得 補助金額 1. 転入の場合15万円（一部条件で30万円） 2. 転居の場合10万円（一部条件で30万円）
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
親子間の子育てや介護などの支え合いを促進し、市への定住を図る。	【今後の方向性】 本事業に加え、シティプロモーション推進事業との連携を図りながら、子育て・教育施策等も併せて効果的にPRすることで、本市への転入の増加につなげていく。

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	3世代住宅取得補助金 補助件数 (件)	95	95	95	95
活動					
成果	30歳代・40歳代の転入者数 (人)	1,550	1,400	1,450	1,500
成果	30歳代・40歳代の転出者数 (人)	1,280	1,250	1,250	1,250
事業費 (千円)		13,128	13,103	13,103	13,103
うち一般財源 (千円)		13,128	13,103	13,103	13,103
備考					

公共交通維持事業

183

施策体系	04-04-01	会計区分	一般会計	計画年度	平成30年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市民生活部 (課)自治振興課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	【事業概要】 コミュニティバス「フラワー号」 8コース 運賃 一般：200円 小中高生・大学生・65歳以上・免許返納者：100円 未就学児・障がい者・80歳以上・妊娠中：無料 （免許返納者：1年間無料）
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
通勤・通学などで多くの市民が利用し、利便性が確保される。また、運転免許証返納者や移動困難者に対する移動手段を提供し、市内のアクセス性を高める。	【今後の方向性】 令和5年度 コミュニティバス運行見直し コミュニティバス運行事業者選定 5年ごとに選定

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	コミュニティバスの乗車人数 (人)	348,000	353,000	425,000	450,000
活動					
成果	コミュニティバス利用者1人当たりの補助金額 (円)	315.7	292.1	240.2	224.5
成果					
事業費 (千円)		205,700	160,165	126,000	124,980
うち一般財源 (千円)		166,758	121,723	87,558	86,538
備考	令和4年度以降は、このす乗合タクシーの本運行に伴い、コミュニティバス（フラワー号）とデマンド交通（ひなちゃんタクシー・このす乗合タクシー）を分割して事業の進捗を管理する予定。令和4年度から公共交通維持事業とデマンド交通運行事業の2事業へ分割した。				

デマンド交通運行事業

1653

施策体系	04-04-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和04年度～令和 年度	事業区分	新規
担当部課	(部)市民生活部 (課)自治振興課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	<p>【事業概要】</p> <p>ひなちゃんタクシー 月10回、土日祝日運休 <対象>70歳以上の高齢者、障がい者、難病患者 要介護要支援認定者、未就学児、妊婦 こうのす乗合タクシー（実証運行中） 予約、同乗可 <対象>鴻巣市に住民登録がある方</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>持続可能な運行とするため、ひなちゃんタクシーから、予約ができ低運賃で利用できる乗合タクシーへの移行を進める。 乗合タクシーは、令和4年度から平日は6台で運行し、令和5年度からの本運行に向け検証を実施する。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市民の日常生活の移動手段が確保され、利便性の向上を図るとともに、持続可能な運行を目指していく。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	ひなちゃんタクシー登録者数(累計)(人)	12,800	14,300	15,800	17,300
活動	こうのす乗合タクシー登録者数(累計)(人)	12,000	14,500	17,000	19,500
成果	ひなちゃんタクシー利用件数(件)	40,000	36,000	35,000	34,000
成果	こうのす乗合タクシー利用者数(人)	20,000	25,000	26,600	28,000
事業費(千円)			103,307	102,927	102,927
うち一般財源(千円)			102,807	102,427	102,427
備考					

花いっぱいのもちづくり事業

1626

施策体系	04-05-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和03年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)商工観光課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民及び本市を訪れた方	<p>【事業概要】</p> <p>令和2年12月の「花と緑の都市宣言」を契機に街なかを花いっぱいとするまちづくりを進め、鴻巣市を訪れる方に「花のまち」として認知してもらえるようPRを行う。市民や免許センター利用者に効果的にPRを行っていく。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>令和4年度以降、鴻巣駅から免許センターまでの区間を期間限定で花で彩るフラワーロードの創出を行うとともに、その他の場所でも街なか花装飾や花壇整備等を実施していく。併せて、花のボランティア活動参加人数を増加させ、継続的に実施できる体制を構築する。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市民や免許センター等鴻巣市を訪れる方に対し、花のまちとしての認知度向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	年間の植栽回数(回)	10	11	11	11
活動					
成果	花のボランティア活動参加延べ人数(人)	300	350	400	450
成果					
事業費(千円)		18,472	18,499	20,000	20,000
うち一般財源(千円)		14,398	18,499	20,000	20,000
備考					

コウノトリの里づくり事業

施策体系	04-05-03	会計区分	一般会計	計画年度	平成22年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	（部）環境経済部（課）環境課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	<p>【事業概要】 『鴻巣市コウノトリの里づくり基本計画』に基づき、市民になじみの深いコウノトリを自然と共存する持続可能な地域づくりのシンボルとし、コウノトリとの共生による「人にも生きものにもやさしいコウノトリの里 こうのす」の実現を目指す。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	<p>【今後の方向性】 令和4年度以降 コウノトリ飼育・放鳥へ向けた自然環境づくりを行うため、「生息域内保全計画の策定」「水辺の生物多様性の保全・再生」「生きもの等調査」を実施していく。</p>
たくさんの生きものが生息することができる自然環境づくりが進むことで、市民が住みよい環境を整える。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	生きもの調査及び生きもの観察会への参加者数（人）	-	30	60	90
活動					
成果	生物多様性が保たれていると思う市民の割合（％）	78.7	79.6	80.5	81.4
成果					
事業費（千円）		11,525	10,140	8,476	8,476
うち一般財源（千円）		453	448	446	446
備考					

このとりパートナー事業

1595

施策体系	05-03-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和02年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)環境課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、事業者	【事業概要】 「コウノトリをシンボルとしたまちづくり」に賛同するパートナーを獲得し、「まちづくり・仕組みづくり」を推進する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 地産地消の推進、このとりブランドの開発支援、寄附金の募集を行い、多くの関係者と一緒に事業推進を図る。令和4年度は、コウノトリファンクラブを創設し、会員を募る。
「人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こののす」を実現するために、多くの人に参加していただく。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	農産物使用店等奨励金の件数 + 商品開発補助金の件数 (累計)(件)	23	40	80	120
活動					
成果	ファンクラブ会員数 (人)	100	250	300	350
成果					
事業費 (千円)		5,435	3,720	3,720	3,720
うち一般財源 (千円)		5,435	3,720	3,720	3,720
備考					

にぎわい交流館管理運営事業

1650

施策体系	05-03-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和04年度～令和 年度	事業区分	新規
担当部課	(部)環境経済部 (課)商工観光課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
施設利用者	【事業概要】 1F カフェの運営、地場製品の販売 2F 多目的室と食品加工室の貸し館 講座・イベントの実施
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 地域食材を活用した商品の開発及び提供や多目的室及び食品加工室の貸館業務、食と健康に関するイベント・講座等、また指定管理者が実施する民間のノウハウや能力を活用した魅力ある自主事業を通じ、産業の振興及び人々の交流の促進を図る。
地域のにぎわいを創出し、本市の魅力あるまちづくりを推進する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	6次産業化された特産品等の商品数 (件)		2	5	5
活動	地元産食材を活用したメニュー開発件数 (件)		2	6	12
成果	施設の来館者数 (人)		19,000	20,000	21,000
成果	提供メニューに使用した地域食材の仕入れ額 (千円)		5,775	5,925	6,075
事業費 (千円)			20,880	20,880	20,880
うち一般財源 (千円)			9,468	9,468	9,468
備考					

ふるさと納税促進事業

1396

施策体系	06-03-05	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市長政策室 (課)総合政策課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
鴻巣市を応援したい方	【事業概要】 本市に寄附した方に対して市特産品を贈呈する。ふるさと納税ポータルサイトの積極的な活用により本市特産品をPRする。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 返礼品の充実を図るとともに、広告出稿による寄附者へのPRや、前年度寄附者へのDM発送により、寄附者及び寄附金額の増加を目指す。また、本市の課題解決のため、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを実施し、市の取組への支援者を獲得するとともに、寄附を募る。
ふるさと納税の寄附の増加による本市及び市特産品のPRと自主財源の確保を行い、関係人口の創出を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	ふるさと納税ポータルサイトへの広告掲載回数（回）	20	50	80	100
活動	本市にふるさと納税をしたことがある方へのDM発送件数（件）	1,000	1,500	2,000	2,200
成果	ふるさと納税による寄附金額（千円）	120,000	160,000	180,000	200,000
成果	寄附者のうち、以前にも寄附をしていただいた人数（人）	700	1,252	1,439	1,632
事業費（千円）		59,780	79,516	90,000	100,000
うち一般財源（千円）		0	0	0	0
備考					

シティプロモーション推進事業

1486

施策体系	06-03-05	会計区分	一般会計	計画年度	平成29年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市長政策室 (課)総合政策課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民 鴻巣市を応援したい市外在住者	【事業概要】 鴻巣市の魅力を市内外に発信し、市民の愛着醸成を図るとともに、地域のイメージ向上に取り組み、関係人口や定住人口の獲得につなげる。 【今後の方向性】 オープンミーティング、ワークショップの開催 今後の取組をけん引するプレーヤーの掘り起こしや育成、市民参加型イベントの企画や運営等に取り組み、市民協働によるまちづくりの推進体制を構築する。 シティプロモーションフォーラムの開催 今後の取組の方向性を市民や事業者等の関係者と共有を図るため、10月1日の市民の日にフォーラムを開催する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市民の愛着を醸成するとともに、まちの魅力を効果的に発信することにより、選ばれるまちを目指す。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	市民協働で取り組むシティプロモーション活動数（件）	10	12	15	20
活動					
成果	シティプロモーション活動に参加した市民及び市外在住者の延べ人数（人）	200	240	300	350
成果					
事業費（千円）		3,919	7,251	6,265	6,265
うち一般財源（千円）		3,419	6,301	6,265	6,265
備考					

包括施設管理業務事業

1625

施策体系	06-04-03	会計区分	一般会計	計画年度	令和04年度～令和 年度	事業区分	新規
担当部課	(部)財務部 (課)資産管理課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市有公共施設（施設管理者）及び利用者	<p>【事業概要】 公共施設ごと・業務ごとに発注していた設備点検や保守管理・簡易修繕等の業務について、民間のノウハウ、効率性を活用し、業務水準の統一、保守管理の質の向上及び業務の効率化を図るとともに、今後の持続可能な公共施設の管理運営につなげることを目的とする。 令和4年度開始時においては、庁舎・学校・公民館等118施設で実施。</p> <p>【今後の方向性】 令和4年度～令和8年度：包括施設管理業務の実施</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
状態の一元把握・優先順位化の支援・管理の質の向上・予防保全体制の確立・膨大な事務コストの低減等の効果により、安全・安心かつ持続可能な公共施設の管理運営が行われている。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	包括管理施設の年間保守管理計画の執行率 (%)	0	100	100	100
活動					
成果	対象施設 設備の不具合により 施設利用を停止した件数 (件)	0	0	0	0
成果	事務コスト削減額 (千円)	6,344	62,596	62,596	62,596
事業費 (千円)		0	433,373	431,570	434,425
うち一般財源 (千円)		0	433,373	431,570	434,425
備考	成果指標「事務コスト削減額」は、本業務実施中の先行自治体における契約1本あたりの「予算要求 契約 検査 監査」等の事務コスト額を、本市に置き換え試算。(令和3年度については、予算編成分の事務コスト削減見込額を計上)				

DX推進事業

1620

施策体系	06-04-04	会計区分	一般会計	計画年度	令和03年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)総務部 (課)ICT推進課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、職員	<p>【事業概要】 業務効率化及び市民の利便性向上のため、情報システムの標準化やAI・RPAの活用を推進していく。キャッシュレス決済手段及び対象を拡大する。</p> <p>【今後の方向性】 AI-OCR・RPAを活用した業務効率化候補業務の洗い出し及び積極的に追加導入していく 音声認識議事録作成ツール 議事録作成が必要な会議等への活用を促進する DXの推進 鴻巣市DX推進計画に基づき、全庁的にDXを推進する</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
鴻巣市デジタル・トランスフォーメーション推進計画に基づき、着実なDX推進を図る。特に、市役所業務にデジタル技術を活用し、手続の簡素化、迅速化、効率化を図り、市民サービスの向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	RPA・AI-OCR活用業務数 (件)	9	15	20	25
活動	オンライン化した手続数 (件)	4	67	79	91
成果	RPA・AI-OCR活用による平均業務時間削減率 (%)	50.0	55.0	60.0	65.0
成果	IT (情報技術) を利用した行政サービスの市民満足度 (%)	79.5	80.0	80.5	81.0
事業費 (千円)		7,709	6,741	7,000	7,000
うち一般財源 (千円)		7,709	6,741	7,000	7,000
備考					

小学校施設改修事業

627

施策体系	01-02-04	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)教育部 (課)教育総務課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
小学校施設、児童	【事業概要】 施設の老朽度、劣化度及び築年数などから改修計画を作成し、計画的に設計及び工事を実施する。学校からの要望については緊急性及び危険性などから改修対象を決定する。 【今後の方向性】 令和4年度：トイレ改修工事(田間宮小) トイレ改修設計(赤見台第一小) 屋上防水改修設計(箕田・松原小) 令和5年度以降：トイレ改修工事(赤見台第一小)、屋上防水改修工事(箕田・松原小) 個別施設計画に基づく改修設計・工事 指標は、計画に基づくトイレ及び屋上防水改修とする。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
小学校の施設や設備の不具合や危険箇所が解消され、児童が安全かつ快適に利用している。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	トイレ洋式化改修個数(基)	48	24	26	26
活動	屋上防水改修棟数(棟)	0	0	2	2
成果	トイレ洋式化率(累計)(%)	61.2	64.8	68.2	71.6
成果	屋上防水改修率(累計)(%)	27.3	27.3	31.8	45.5
事業費(千円)		55,217	9,631	249,000	241,000
うち一般財源(千円)		900	2,031	0	0
備考					

中学校施設改修事業

635

施策体系	01-02-04	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)教育部 (課)教育総務課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
中学校施設、生徒	【事業概要】 施設の老朽度、劣化度及び築年数などから改修計画を作成し、計画的に設計及び工事を実施する。学校からの要望については緊急性及び危険性などから改修対象を決定する。 【今後の方向性】 令和4年度：トイレ改修工事(吹上北中) 屋上防水等改修工事(鴻巣・鴻巣北中) トイレ改修設計(鴻巣北中) 令和5年度以降：トイレ改修工事(鴻巣北中) 個別施設計画に基づく改修設計・工事 指標は、計画に基づくトイレ及び屋上防水改修とする。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
中学校の施設や設備の不具合や危険箇所が解消され、生徒が安全かつ快適に利用している。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	トイレ洋式化改修個数(基)	32	40	27	27
活動	屋上防水改修棟数(棟)	0	3	0	0
成果	トイレ洋式化率(累計)(%)	51.1	58.8	64.5	70.1
成果	屋上防水改修率(累計)(%)	35.3	52.9	52.9	52.9
事業費(千円)		94,370	200,563	83,000	87,000
うち一般財源(千円)		2,760	880	0	0
備考					

みどりの校庭推進事業

1288

施策体系	01-02-04	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)教育部 (課)教育総務課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
校庭、児童	<p>【事業概要】 みどりいっぱい園庭・校庭促進事業補助金を活用し、校庭の芝生化を実施する。芝生化にあたっては、学校からの要望、土・砂埃等の周辺地域への飛散防止、学校体育施設開放事業においてグラウンドが使用できること等を考慮し対象校を選定する。</p> <p>【今後の方向性】 令和4年度 : 吹上小 令和5年度以降 : 毎年1校(予定)</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
子どもたちが、自由に走り回れる緑のグラウンドを整備する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	芝生化済の校庭数(校)	11	11	12	13
活動					
成果	整備率(%)	57.9	61.1	66.7	72.2
成果					
事業費(千円)		34,931	36,980	37,981	38,982
うち一般財源(千円)		17,531	19,580	20,581	21,582
備考					

鴻巣地区複合施設整備事業

1659

施策体系	01-03-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市長政策室 (課)総合政策課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	<p>【事業概要】 令和2年度に実施した民間活力導入可能性調査の結果を受けて、市役所第二庁舎跡周辺に多世代交流拠点となる複合施設を整備する。</p> <p>【今後の方向性】 令和4年度 事業手法及び施設機能の検討 令和5年度 事業者サウンディング、公募書類作成 令和6年度 事業者選定、基本設計</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
子育て世代に選ばれるまちづくりを推進し、安心して子育てできる環境を創出する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	事業費(千円)		0	5,060	19,872
活動					
成果	施設数(施設)		0	0	0
成果					
事業費(千円)			0	5,060	19,872
うち一般財源(千円)			0	5,060	19,872
備考					

災害支援体制整備事業

施策体系	03-01-03	会計区分	一般会計	計画年度	平成19年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)危機管理監 (課)危機管理課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	<p>【事業概要】 備蓄計画に基づき、防災倉庫における備蓄すべき品目、数量の適正化を図る。また、非常用トイレ等の避難所における備品の整備を進める。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	<p>【今後の方向性】 地域防災計画での食料備蓄目標量は達成しているが、近年の水害状況を踏まえ、備蓄食料の充実を図っていく。令和4年度は、避難所である総合体育館に空調設備を設置し、避難者の生活環境を向上する。</p>
大規模な災害が発生した直後の市民生活を確保するため、食料、生活必需品等の備蓄体制の整備を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	食料の備蓄量(累計)(食)	61,884	62,992	75,712	88,432
活動	ラップ式トイレ購入台数(累計)(台)	30	60	90	120
成果	鴻巣市地域防災計画に基づく備蓄計画の充足率(%)	171.05	58.3	70.1	81.8
成果	避難所における非常用トイレ整備率(%)	45.5	54.5	63.6	72.7
事業費(千円)		27,979	329,091	26,824	26,824
うち一般財源(千円)		27,618	28,879	26,512	26,512
備考	成果指標について、令和3年度までは地域防災計画の備蓄目標量36,179食としていたが、令和4年度からは関東平野北西縁断層帯地震を想定した108,000食を備蓄計画の目標として設定しなおした。				

北新宿第二土地区画整理事業特別会計繰出金

588

施策体系	04-01-03	会計区分	一般会計	計画年度	平成07年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)市街地整備課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
北新宿第二土地区画整理区域 同区域内の土地権利者	【事業概要】 市施工で実施する区画整理事業の促進と事業の安定のため、一般会計から北新宿第二土地区画整理特別会計へ繰出金として拠出を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 令和4年度以降は、平成30年度に仮換地指定を行った区域を含め物件移転補償及び区画道路の整備を行う。
土地区画整理事業により整備改善を図り、良好な居住環境を有する宅地の基盤整備と既存宅地の整備改善がなされる。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	当初予定の繰出執行率（のべ執行額/全体拠出予定額）（%）	68.2	75.9	81.1	86.2
活動					
成果	北新宿第二土地区画整理事業整備率（事業費ベース）（%）	75.9	82.8	87.9	93.1
成果	北新宿第二土地区画整理事業施行区域内人口（人）	1,931	1,911	1,930	1,949
事業費（千円）		361,000	427,900	300,000	300,000
うち一般財源（千円）		361,000	427,900	300,000	300,000
備考					

広田中央特定土地区画整理事業特別会計繰出金

589

施策体系	04-01-03	会計区分	一般会計	計画年度	平成07年度～令和07年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)市街地整備課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
広田中央特定土地区画整理区域 同区域内の土地権利者	【事業概要】 市施工で実施する区画整理事業の促進と事業の安定のため、一般会計から広田中央特定土地区画整理事業特別会計へ繰出金として拠出を行う。 平成 9年度 事業認可 平成13年度 事業に着手し、順次仮換地指定を実施。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 令和2年度第5回事業計画の変更により、資金計画及び全体事業費の見直しを行い、令和8年3月31日まで期間延伸したため、事業完了に向け、取組を継続して行う。
土地区画整理事業により公共・公益施設を、一体的に整備改善することにより、良好な居住環境を有する宅地の基盤整備と既存農地の整備改善がなされる。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	当初予定の繰出執行率（のべ執行額/全体拠出予定額）（%）	90.1	90.6	93.4	96.2
活動					
成果	広田中央特定土地区画整理事業整備率 （のべ事業費（人件費含）/全体事業費）（%）	89.8	92.0	94.7	97.3
成果	広田中央特定土地区画整理事業施行区域内人口（人）	1,240	1,314	1,379	1,447
事業費（千円）		93,000	56,000	50,000	50,000
うち一般財源（千円）		93,000	56,000	50,000	50,000
備考					

(仮称)共和箕田線整備事業

537

施策体系	04-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	平成16年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
計画道路（（仮称）共和箕田線）及び利用者	<p>【事業概要】 川里地域から鴻巣地域の国道17号へ連絡する新たな骨格となる道路を整備する。 全体計画区間：L 4.5Km(県道北根菖蒲線～国道17号) 重点整備区間：L 2.0Km(県道鴻巣羽生線～国道17号) 整備幅員：W=10.5m〔車道部8.0m(2車線)+歩道部2.5m(片側)〕</p> <p>【今後の方向性】 令和4年度以降：地元線形協議調整 調整結果に基づき、道路修正設計、各管理者協議、用地測量等の実施</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
鴻巣地域と川里地域を結ぶ新たな骨格道路を整備することにより、地域間交流や連携の促進を図る。また、周辺の国道17号との交差点付近の渋滞の緩和や各拠点へアクセスする道路として、利便性の向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	新たに取得する事業用地 (㎡)	0	0	0	0
活動	事業費 (千円)	0	0	1,000	1,000
成果	道路整備率 (%)	0	0	0	0
成果					
事業費 (千円)		0	0	1,000	1,000
うち一般財源 (千円)		0	0	1,000	1,000
備考	令和5年度以降のスケジュール・事業費等については精査中の為、事業費は科目存置分として計上。				

荒川左岸通線整備事業

544

施策体系	04-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)都市計画課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
都市計画道路荒川左岸通線及び利用者	<p>【事業概要】 荒川左岸通線を北本方面（市道B-363号線から主要地方道さいたま・鴻巣線まで）に延伸する。事業開始に向けて、必要に応じて事業認可の申請を行う。</p> <p>【今後の方向性】 令和4年度は路線測量・詳細設計・用地測量を予定しており、令和5年度以降は道路課の事業として順次工事に着手する。（幅員18.0m、延長約600m）</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
鴻巣駅西側の骨格道路が整備され、交通の利便性向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	新たに取得する事業用地 (㎡)	0	0	0	0
活動	事業費 (千円)	0	23,600	15,000	1,000
成果	道路整備率 (%)	0	0	0	0
成果					
事業費 (千円)		0	23,600	15,000	1,000
うち一般財源 (千円)		0	6,000	800	1,000
備考					

市道A-1004号線整備事業

1173

施策体系	04-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
計画道路（市道A 1004号線）及び利用者	【事業概要】 （1期区間）屈巢から寺谷までの約400mの区間を整備し、平成26年度に供用開始。 （2期区間）大幹線排水路から寺谷東団地までの約320m区間を整備し、平成30年度に供用開始。 （3期区間）国道17号箕田南交差点から北側へ約100mの区間を拡幅し、歩道整備と右折帯の設置を実施する。 【今後の方向性】 令和4年度 物件調査 令和5年度 用地、物件移転補償 令和6年度 交差点改良及び歩道整備工事
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
鴻巣地域と川里地域を東西に結ぶ、市道A-1004号線を整備することにより、交差点付近の渋滞を改善し、交通の安全性・利便性の向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	新たに取得する事業用地 (㎡)	0	0	225.6	0
活動	道路整備延長 (m)	0	0	0	100
成果	道路整備率 (%)	0	0	0	100
成果					
事業費 (千円)		3,500	6,200	52,500	50,000
うち一般財源 (千円)		3,500	2,400	4,550	3,000
備考					

三谷橋大間線(3期工事)整備事業

1576

施策体系	04-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和02年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
計画道路（三谷橋大間線（3期））及び利用者	【事業概要】 上尾道路から荒川左岸通線までの約429mの区間を、両側歩道付き幅員16mの道路整備を行う。 【今後の方向性】 令和4年度 用地測量・物件調査 令和5年度～ 用地買収・物件移転補償
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
国土交通省所管の上尾道路事業化に伴い、交差点接続に合わせ、荒川左岸通線までの区間を整備することにより、上尾道路と周辺市道とのアクセスを改善し、交通の利便性を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	新たに取得する事業用地 (㎡)	0	0	1,373	1,373
活動	事業費 (千円)	0	5,682	15,143	26,743
成果	道路整備率 (%)	0	0	0	0
成果					
事業費 (千円)		0	38,000	226,780	226,780
うち一般財源 (千円)		0	10,500	12,080	12,080
備考					

幹線道路等整備事業

1613

施策体系	04-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和03年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
主に市民が利用する市道のうち、舗装の個別施設計画の対象となる幹線道路等及び利用者	【事業概要】 舗装の個別施設計画の対象路線のアスファルト舗装を改修する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 市民からの振動等の苦情や改修要望箇所を考慮しながら、原則として舗装の個別施設計画に基づき、改修工事を実施していく。また、令和4年度の事業費は公共施設等適正管理推進事業債等の事業債を活用し、対応する。
多くの市民が利用する幹線道路等を適正に維持、保全し、安心して利用できる道路環境を整備し、利便性の向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	幹線道路等改修工事延長 (km)	23.7	6.6	8.7	8.7
活動					
成果	整備進捗率 (%)	42.0	53.7	69.1	84.6
成果					
事業費 (千円)		669,350	242,325	240,000	240,000
うち一般財源 (千円)		79,850	34,225	24,000	24,000
備考					

上尾道路接続市道整備事業

1640

施策体系	04-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和04年度～令和 年度	事業区分	新規
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
計画道路（9路線）及び利用者	【事業概要】 上尾道路に接続する市道9路線の道路整備を行う。 【今後の方向性】 令和4年度 路線測量(市道A-2045号線) 令和5年度 路線測量(市道B-241・B-476・A-2020・A-1038・A-2017・B-481号線) 令和6年度 実施設計(市道A-2045号線) 路線測量(市道C-307号線) 実施設計(市道B-241・B-476・A-2020・A-1038・A-2017・B-481号線) 用地測量・物件調査(市道A-2045号線) 市道B-177号線については、国との協議を進める。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
上尾道路整備に伴い接続する市道9路線の拡幅整備等を行うことで、道路ネットワークの強化とともに交通環境整備を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	新たに取得する事業用地 (㎡)		0	0	0
活動	事業費 (千円)		6,000	14,663	26,743
成果	道路整備率 (%)		0	0	0
成果					
事業費 (千円)			6,000	14,663	26,743
うち一般財源 (千円)			3,500	5,363	2,143
備考					

橋りょう維持事業

538

施策体系	04-02-03	会計区分	一般会計	計画年度	平成28年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
橋りょう及び利用者	【事業概要】 鴻巣市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、493橋を対象として、橋梁定期点検、補修設計、補修工事を行う。
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	【今後の方向性】 令和4年度 橋梁定期点検100橋、補修工事 令和5年度 橋梁定期点検 96橋、補修設計、補修工事 令和6年度 橋梁定期点検100橋、補修工事、修繕計画更新
市が管理する橋りょうを補修することにより、市民が安心・安全に利用できることを図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	橋梁定期点検実施数(件)	107	100	96	100
活動	橋梁補修工事実施数(件)	3	2	2	2
成果	橋りょうの健全性 及び (危険)箇所数(件)	29	27	25	23
成果					
事業費(千円)		74,600	50,000	60,000	60,000
うち一般財源(千円)		27,800	25,400	21,800	21,800
備考					

ふるさと総合緑道整備事業

1036

施策体系	04-05-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)都市計画課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
ふるさと総合緑道及び利用者	【事業概要】 市全域を対象に、公園緑地施設、主要な公共施設、保全緑地や歴史文化施設等をネットワークで結び、令和2年度ふるさと総合緑道基本計画更新に基づき整備を実施する。また、未整備部分の橋梁整備も併せて進めていく。
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	【今後の方向性】 令和4年度 橋梁部分詳細設計、物件補償修正業務 令和5年度 用地買収、物件補償 令和6年度 水路改修工事
ふるさと総合緑道が整備されることで、みどりに親しみながら、安全・安心に歩くことが出来る環境を作り上げる。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	新しく創出・利用される緑道(m)	0	310	0	0
活動					
成果	ふるさと総合緑道整備率(%)	99.5	99.5	99.8	99.8
成果	ふるさと総合緑道整備済延長(m)	91,430	91,430	91,740	91,740
事業費(千円)		0	48,840	48,609	20,500
うち一般財源(千円)		0	0	10,609	20,500
備考	活動指標「新しく創出・利用される緑道」については埼玉県による整備分を含む。				

鴻巣 行田地区経営体育成基盤整備事業

1326

施策体系	05-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	平成28年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)農政課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
鴻巣市（屈巢・広田）、行田市（野・埼玉）地区のほ場整備対象農地	<p>【事業概要】 平成24年7月に設立された「鴻巣・行田地区ほ場整備推進協議会」による経営体育成基盤整備事業（大区画ほ場整備）に対し、鴻巣市と行田市が共同で事業支援を行う。 ・整備面積：鴻巣市62.3ha 行田市27.1ha 合計89.4ha ・補助率：国50% 県27.5% 市20.0% 地元2.5%</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】
かんがい用施設の整備により、生産性が向上するとともに、維持管理を軽減する。	令和4年度 工事等 令和5年度 工事・確定測量等 令和6年度 暗渠排水・確定測量・行政界変更等

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	事業費(累計)(千円)	822,392	989,447	1,212,047	1,302,233
活動	整備済面積(累計)(ha)	60.0	74.3	89.2	89.2
成果	事業進捗率(事業費ベース)(%)	83.5	74.7	91.5	98.3
成果	整備率(整備済面積ベース)(%)	67.1	83.3	100.0	100.0
事業費(千円)		18,389	2,656	31,138	12,616
うち一般財源(千円)		2,789	456	4,738	1,916
備考					

道の駅整備事業

1383

施策体系	05-02-03	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)道の駅整備プロジェクト					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
「道の駅」の整備	<p>【事業概要】 本市の地方創生の拠点となる施設として、道路利用者の休憩機能、道路情報や周辺の観光・イベント情報等の情報発信機能、農業を始めとする地域産業の活性化に寄与する地域連携機能を併せ持つ「道の駅」を整備する。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】
「道の駅」の整備により、地産地消の促進による都市近郊型農業の活性化、商工業、観光の振興等、本市の地方創生の拠点として、広域交流や賑わいの創出、地域経済の活性化を図り、本市の魅力を全国に発信する。	令和4年度 造成工事、管理運営候補者の選定 令和5年度 建築・外構設計、アクセス道路工事 令和6年度 建築・外構工事、アクセス道路工事

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	事業費(千円)	336,380	133,980	295,523	1,325,523
活動	用地取得率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0
成果	施設数(施設)	0	0	0	0
成果					
事業費(千円)		336,380	133,980	295,523	1,325,523
うち一般財源(千円)		315,080	8,825	267,523	1,051,023
備考					

配水管等布設事業

914

施策体系	03-05-01	会計区分	企業会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)上下水道部 (課)水道課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
給水区域内水道使用者	<p>【事業概要】 配水設備の拡張事業として、配水管新設にかかる設計、工事を実施。 配水設備の改良事業として、配水管布設替にかかる設計、工事を実施。</p> <p>【今後の方向性】 令和4年度以降：管路更新計画路線、区画整理事業、道路舗装改修路線、下水道工事に伴う路線、漏水多発路線などを優先的に実施していく。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
配水設備等の拡張及び改良事業等により、水道水が安定供給されている	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	管路総延長 (m)	576,500	579,000	581,500	584,000
活動	耐震管延長 (m)	52,400	53,200	54,000	54,800
成果	管路の耐震管率 (%)	9.1	9.2	9.3	9.4
成果	基幹管路の耐震適合率 (%)	84.0	83.9	83.9	83.9
事業費 (千円)		594,000	619,000	619,000	619,000
うち一般財源 (千円)		371,750	372,890	372,890	372,890
備考					

污水管渠整備事業

933

施策体系	03-06-01	会計区分	企業会計	計画年度	昭和48年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)上下水道部 (課)下水道課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
公共下水道認可区域の一般家庭、事業所・工場	<p>【事業概要】 公共下水道認可区域（主に市街化区域）における一般家庭、事業所・工場等の雑排水を污水管に流し、流域下水道を経て、終末処理場できれいな水にして川に流すため、污水管の整備工事及び公共汚水ますの設置工事を行う。</p> <p><計画全体概要> 事業認可面積 約1,534ha(令和4年3月31日予定) 供用開始面積 約1,495.6ha(令和4年3月31日予定)</p> <p>【今後の方向性】 令和4年度 箕田地内(2.85ha)、北新宿地内(3.5ha) 令和5年度 北新宿地内(4.5ha) 令和6年度 北新宿地内(3.21ha)</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
污水管渠（污水管、汚水ます）が整備されている	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	整備面積 (ha)	1,499	1,503	1,507	1,511
活動					
成果	整備率 (%)	98.0	98.0	98.2	98.5
成果					
事業費 (千円)		735,252	600,002	122,700	115,700
うち一般財源 (千円)		62,977	62,932	65	15
備考					

マンホール蓋改築事業

施策体系	03-06-01	会計区分	企業会計	計画年度	令和03年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)上下水道部 (課)下水道課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
公共下水道認可区域（汚水）	【事業概要】 公共下水道認可区域（汚水）内において、機能が陳腐化したマンホール蓋の改築工事を実施する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 ストックマネジメント計画により改築計画を定めて、令和3年度以降、約700基/年を目途に改築を行っていく予定。
機能が陳腐化したマンホール蓋を改築することにより、蓋に起因するスリップ事故等の二次災害を未然に防止する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	改築基数 (累計)(基)	700	1,400	2,169	2,656
活動					
成果	改築率 (%)	26.4	52.7	81.7	100
成果					
事業費 (千円)		280,000	266,000	292,220	185,060
うち一般財源 (千円)		100,000	157,700	118,009	75,107
備考					

雨水整備事業

施策体系	04-03-02	会計区分	企業会計	計画年度	平成22年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)上下水道部 (課)下水道課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
公共下水道認可区域(雨水)	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道認可区域内において、すみやかに雨水排水が行われるように計画し、整備を行う。 ・都市下水路事業として整備を行ってきたが現在は区画整理事業を中心に雨水管渠の整備を行う。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引続き北新宿第二土地区画整理事業地内の整備を行う。 令和4年度 北新宿地内(277.6m) 令和5年度 北新宿地内(285.7m) 令和6年度 北新宿地内(236.4m)
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
雨水管渠が整備されることにより、浸水被害が減少する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	03年度当初	04年度当初	05年度計画	06年度計画
活動	整備面積(市内全域)(累計)(ha)	329.2	330.1	333.8	335.8
活動	整備面積(北新宿地内)(累計)(ha)	37.1	38.0	41.7	43.7
成果	整備率(市内全域)(%)	44.1	44.3	44.8	45.0
成果	整備率(北新宿地内)(%)	68.3	70.0	76.8	80.5
事業費(千円)		787,611	242,500	137,136	113,472
うち一般財源(千円)		42,311	67,800	36	72
備考					

第6次鴻巣市総合振興計画〈平成29年度～令和8年度〉

令和4年度 実 施 計 画

〈計画期間 令和4年度～令和6年度〉

令和4年 3月

発行／鴻巣市市長政策室総合政策課

〒365-8601 埼玉県鴻巣市中央1番1号

電 話： 048-541-1321（代表）

電 話： 048-541-9013（直通）

F A X： 048-543-5480

<http://www.city.kounosu.saitama.jp/>